

三遊亭らん丈 後援会会報

『今年の流行語大賞「自己責任」』 三遊亭らん丈

去る四月二十日、「情報が不完全な市場での経済均衡」についての研究成果により、二〇〇一年度のノーベル経済学賞を受賞した、コロンビア大学のジョセフ・E・ステイグリッツ教授への、早稲田大学からの名誉博士学位贈呈に伴う講演会を聴講してきました。

そこでステイグリッツ教授は、ご自分が世界銀行副総裁だった経験からも、国際通貨基金（IMF）が市場原理主義の立場による政策を途上国に押し付けてきたことで、世界経済がさらに不安定になっ

てきている、と批判していました。近年のIMFではそれでも一定の改革が進んだものの、米国の先導国としての配力がなお強大であり、情報の透明性の

欠如など、根本的な問題が解決されていない、と指摘しました。

講演後、会場来聴者との質疑応答の時間が持たれ、三人が質問をしました。その際、日英両語での質問が許されていたので、どちらでも可能だったので、うち、二人の学生は英語で、もう一人の六十歳がらみの方は日本語で質問していました。

このように、ほくが最初の学生生活を送った頃とは違い、いまや、英語を駆使する学生はなら特別な存在ではなくなりました。

あるいは、最初の学生生活を送っていた二十年以上前にはそもそもパーソナルコンピュータ自体がありませんでしたが、

いまや一家に一台はある時代になりましたし、そのほとんどのPCはインターネットと接続されていることでしょう。

先日、たまたまある政党のHPを見たのですが、その政党は英語での標記も併せてHP上に載せていました。日本も国際社会の一員なのですから、ごく当然の配慮でしょう。そこまでいなくなると、どの政党も政党名を日英両語で併記しています。

それは取りも直さず、いまや世界の共通言語と化した英語で標記することによって、自党を、日本人以外の方々にも認知してもらいたいという、ごくまっとうな欲求によるものなのでしょう。

主な政党のHPを順に開けていくと、ある党の興味深い党名標記に気づかされました。

それぞれ、自由民主党はLiberal

2004年5月15日発行
三遊亭らん丈後援会
第22号 頒価100円 〒194-0013
東京都町田市原町田4-10-19-101
【URL】<http://www.ranjo.jp/>
【E-mail】machida@ranjo.jp
TEL 042-732-2004

Democratic Party、民主党は Democratic Party、日本共産党は Japanese Communist Party、社会民主党は Social Democratic Party、という具合に、それぞれ割切な英名を表示しているのですが、与党の一角を占める公明党は New Komeito なのです。

ぼくは英語はからっきし苦手ですので、よくは分かりませんが、公明ならば、Publicly Bright でも標記するのかわかると思っていたら、Komeito ですから、これには少なからず驚かされました。

それでも New の意味は、分かりました。新進党時代の公明ではないという意味での、New なのでしょう。

けれど Komeito の標記を、日本人以外でいいたいほどの方が、それを正しく認識できるのでしょうか。いいえ、ぼくが知らないだけで、Komeito は Sushi や Judo と同じように、英語として立派に通用しているからこそその標記なのでしょう。

英語といえば、シアトルマリナーズの長谷川は偉いもんです。実に器用に英語を駆使していますから。

米国では野球場のことを ball park と呼

びます。

ぼくは実際に米国の球場に行ったことはありませんが、テレビで見ると限りに park と呼ぶに相応しい環境が整えられています。

その最たるものが、フェンスがないために観客席からはオープンな視界が確保されていることです。さすがに日本ではバックネット（米国ではバックストップ）はありますが、視界を遮るものはそれだけです。

つまり、飛んできたボールは自分で捕るなりよけるなりして、快適な環境（＝フェンスのない球場）を望む米国民の氣質が、Ball Park を生み出したのです。

それに較べて日本の球場は、内野はすべてフェンスを張り巡らせてあるため、グラウンドとの一体感が実感できにくい構造となっています。

これは取りも直さず、観客の安全を第一に考えたがための処置なのでしょう。

けれどいうまでもなく観客は、野球を見るために球場に足を運ぶのであって、フェンスの網の目を見るために球場へ行くのではないのです。

イラクで民間人が拘束されたことで、

日本では「自己責任」が話題となっていますが、球場を例に取れば、日本でもフェンスのない球場を望む観客が増えた、ということなのではないでしょうか。

フェンスが無くなれば当然、危険度は増します。すると、昨年実際に大リーグで起こったように、打球を受けて亡くなる観客が出てくるかもしれません。けれど米国人は未だに Ball Park にフェンスを設置しようとは、考えないのです。

ぼくは、政府が自己責任をイラクに行った邦人に問うのなら、まずは政府自身の「自己責任」を認識すべきだと思います。

政府の自己責任とは、自国民の安全を保障することです。それは、日本国憲法第十三条にあるとおり、『生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、（中略）最大の尊重を必要とする。』と記されているのですから。

また今回の場合、拘束された五人の行動は果たして『公共の福祉』に反していたといえるのでしょうか。

パウエル米國務長官が、TBS 記者のインタビューに答えて発言したように、

はくも「より良い目的のため、みずから危険を冒した日本人たちがいたことを私は嬉しく思う」のです。

あるいは見方によって彼らの行動は、仏紙ルモンドのフィリップ・ポンス東京支局長が論評したように、「軽率で無邪気すぎるかもしれないけれど、ネクタイにスーツ姿と夜遊びに耽るギャルの間に、激変する社会に積極的にかわろうとす

る者がいることだけは分かった。彼らは自分なりに世界を変えたいと考えた」うえでのことだったので、栗原彬（明大教授、立大名誉教授、NPO法人「水俣フォーラム」理事長、日本ボランティア学会代表世話人）がいうようにそれは、「人道的要請への魂の応答」であって、「権力の指示への従順さ」を拒否したものであったのです。

『らん丈 http://www.ranjo.jp/6宣言』 三遊亭らん丈

いまや個人でHPを持つているのが、一種のステータスとなるご時世ですから、まして落語家のように看板を上げて商売をしているものにとってHPは、欠かせない宣伝媒体のひとつです。

らん丈も、一昨年からHPを開設しました。まずは一度、インターネットにアクセスできる方はごらん下さいませように、お願いいたします。

とはいっても、大抵の方はアクセスなさらないかもしれません。「どうせ落語家風情のHPだろ。ろくなくもんじゃないう」といった塩梅に。

そんな方のために、手前味噌を承知で

宣伝をさせていただきます。

HPのトップページにコンテンツを掲示していますので、そのご案内をさせていただきますましよう。

定番の「プロフィール」をまずはごらんください。なかに《らん丈を作った百冊以上の書》があります。ご興味のある方は是非どうぞ。ここには、キリスト教、哲学・思想、評論、政治・経済、落語、詩歌・戯曲、小説、エッセイ、スポーツといった具合に、ジャンルに分けて、総計百冊以上の本を掲示しています。そこにこんなコメントを寄せました。

『作者の生き血を吸うがごとくに読ん

だ本のうち、らん丈の精神の骨格をかたち作った書物の一端を以下にご紹介いたします。なお、紙数の関係から断腸の思いで、一著作家一作のみを掲示しました。』

なお、らん丈はカトリックですので、キリスト教関係の書籍をトップに持ってきたのです。

またカレントトピックスとして、「年がら年中困惑記」を掲示しています。これは、日々の出来事のなから、らん丈の琴線に触れたあれこれを、らん丈の視点から綴ったエッセイです

たとえば、網野善彦さんが亡くなられたときには、『網野善彦さん（歴史家）と日の丸』を寄せました。

ほかに、「らん丈全文業」があります。これは文字通り、らん丈が今までに記した、主な文章や俳句を掲示したものです。

なかには、二〇〇〇～二年に在籍していた経済学部で提出したレポートも含まれています。

俳句に関しては、らん丈が所属する「芙蓉俳句会」や句会「あかしあ」に出句したものを掲示しています。

もうひとつの目玉は「らん丈日記」で

す。ここには、芥川龍之介や樋口一葉の小説、村上春樹や東海林さだおのエッセイのほか、神野直彦や佐和隆光の経済書など、さまざまなジャンルにわたる読書録を掲示しています。

デジタルコンテンツとして、「らん丈TV」もご用意しています。百聞は一見に如かず、動いている姿もご覧下さい。

なおらん丈は、毎月定期的にメールマガジンを発行しています。その申込みも、このらん丈HPにて申し受けていますので、そちらの方も、是非、ご登録下さいますように、お願いいたします。

ごらんになって、なにかお気づきのことがあれば、メールをお送りください。お待ちしております。

「うししましょウ」案内

六月十五日(火)午後六時半 開演
新宿永谷ホール (下図参照)にて販売：千八百円

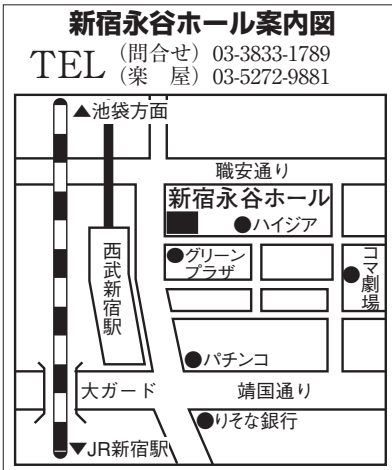
次回から心機一転、場所を池袋から新宿に移しての開催ですので、くれぐれもお間違えのないように。

現在公開されている「パッション」という映画はご存じでしょうか。イエス・キリストが十字架にかけられるまでの十二時間を描いた、メル・ギブソン監督による話題作です。米国では、「ロード・

オブ・ザ・リング／王の帰還」などを抜いて歴代七位の興行収入を上げましたが、イエスを拷問するローマ兵の残忍さと、「殺せ、殺せ」と叫ぶユダヤ民衆の狭量さが究極のリアリズムで表現されたために、激しい賛否を呼びました。

そんなわけで、今回のテーマのひとつに「キリスト教」を取り上げまして、ゲストは、らん丈の恩師のひとり、佐藤研(立大コミュニケーション福祉学部)教授です。先生は、新約聖書の泰斗として、マルコ、マタイ、ルカの共観福音書を翻訳(岩波書店刊)しています。

もうお一人のゲストは、「環境保全活動・環境教育推進法」が昨年制定されたのに伴いまして、環境教育学を専攻する朝岡幸彦(農工大大学院)助教授です。先生の勤務先である農工大は、今年度から国立大学法人となりました。法人化されてどのように変わったのでしょうか。知りたいところです。



次々回は『新宿永谷ホール』にて10/27(水)開催予定

「三遊亭らん丈」後援会入会要項

入会金(会員証作製費+郵送料)として入会者全員から二千円申し受けます。

年会費は四千円ですが、池袋演芸場で行う『うしましょウ』の入場券(二千円相当)を年間で二枚(四千円相当)差し上げます。

◎入会金二千円+年会費三年分一万二千円→一万八〇〇円、合計二、八〇〇円

年会費を三年分前納して下さった方には、10%割引させていただきます。

◎入会金二千円+年会費二年分八千円→七、六〇〇円、合計九、六〇〇円

年会費を二年分前納して下さった方には、5%割引させていただきます。

◎入会金二千円+年会費一年分四千円、合計六、〇〇〇円

会員証と後援会会報のみ御送りします。

※振込先口座※

郵便振替口座00100011730458

加入者名・三遊亭らん丈後援会

《東京三菱銀行・町田支店》

普通預金・2085250 三遊亭らん丈

《みずほ銀行・町田支店》

普通預金・8046459 三遊亭らん丈

《三井住友銀行・町田支店》

貯蓄預金・7264788 三遊亭らん丈

《UFJ銀行・町田支店》

貯蓄預金・1096152 三遊亭らん丈

《りそな銀行・町田支店》

普通預金・1093822 三遊亭らん丈

《イーバンク銀行》http://www.ebank.co.jp/ 支店番号209・口座番号1393592